

## 再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：鈴木克宗

事業名：一般国道 294号 白河バイパス	事業区分：一般国道	事業主体：福島県
起終点：自：福島県白河市西大沼 至：福島県白河市萱根		延長：4.1 km
<b>事業概要</b> 国道294号は千葉県柏市を起点とし、福島県会津若松市に至る延長約225 kmの主要な幹線道路であり、広域的な連携・交流を促す重要な路線である。白河バイパスは、白河市中心市街地の慢性的な混雑を緩和し中心市街地の活性化を目的とした、延長4.1 kmの4車線道路である。		
H7年度事業化	H6年度都市計画決定 (H年度変更)	H8年度用地着手
全体事業費：約117億円		事業進捗率：23%
計画交通量：9,152台/日		供用済延長：0.2 km
費用対効果分析結果	総費用：(残事業)/(事業全体) / 104億円 事業費：/100億円 維持管理費：/4億円	総便益：(残事業)/(事業全体) / 181億円 走行時間短縮便益：/167億円 走行費用減少便益：/12億円 交通事故減少便益：/2億円
	B/C (事業全体) 1.7	基準年：平成16年
<b>事業の効果等</b> ・都市の再生（白河市中心市街地の慢性的な渋滞が緩和される） ・円滑のモビリティの確保（主要渋滞ポイント（女石交差点）が解消される） 他1項目に該当		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 国道294号は、地域交流の促進に重要な役割を果たすことが期待されており、白河市の首長より早期整備の要望（平成16年8月2日）を受けている。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 女石交差点が平成15年度からの渋滞対策プログラムに位置付けられ、事業必要性がより一層増している。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> これまでに、用地買収が52%進捗し、主要構造物である円明寺橋を含む延長0.2 kmを供用している。残る延長3.9 km区間については、現在は白河市中心部の改良工事を実施している。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 引き続き用地買収を促進すると共に、トンネルや橋梁の工事を行い、順次部分供用を図りながら、平成29年には全線供用予定である。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 再生路盤材等の利用を積極的に進め、コスト削減を図っている。		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
<b>事業概要図</b> 		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。